

新渡戸の夢

～学ぶことは生きる証～

人生に悩むあなたに贈る
新渡戸稲造の教育の魂
今こそ日本中の皆様に届けたい！
上映の機会を創造してください

明治・大正・昭和の時代を生き抜いた新渡戸稲造が32歳の時(1894年)に創設したのが、「遠友夜学校」。授業料は無料。学用品も支給。男女共学。入学年齢も自由。夢のような学校でした。

生きるための優れた人格と品性を重んじることが、学校の教育方針でした。ただただ知識を詰め込む教育ではありません。教師は札幌農学校や北海道大学の学生、すべてボランティアでした。

教師も生徒もともに学びながら進む授業でした。残念ながら、第二次世界大戦の影響で50年で閉校してしまいました。

しかし、今、新渡戸の教育精神を受け継ぐ人々がいます。それぞれに学校を創り、自主的に運営しています。そこでは、いつも弱い人々に寄り添い、共に学びながら生きるという精神が実践されています。学ぶことが生きる証と喜びを与えてくれるのです。

人生100年時代と言われています。沢山の辛いことを乗り越えていかなければなりません。人生の問題は、答えは一つではありません。だから迷います。

そんな時、ドキュメンタリー映画「新渡戸の夢」は、ヒントと勇気を与えてくれます。

是非、映画を通じて心の力を獲得してください。



Nitobe's Dream



新渡戸の夢

～学ぶことは生きる証～

上映のしくみ



1 前売券を販売して行う自主上映会の場合

私たちはこの映画の上映を、人と人が支え合う心を語る〈地域運動〉として、ご賛同の方々と手を携えながら全国に広げて行きたいと願っています。

上映の実現と成功には、上映の経験や大きな組織の裏付け等なくとも、この映画をお観せしたい・・・こんな思いを地域の中につなぎながら実現出来るのです。

上映を思い立たれましたら、JSN事務局までご連絡下さい。

担当者がお会いしてご不明な点を解き明かしながら、一緒に上映成功への道を拓いて参ります。

- 公共の施設を利用して、広く住民の方々に広げる上映会です。
- 前売券料金は原則1,200円を基本とします。
- 上映素材ご提供料(一般的にはフィルム代)は、上映総収入の60%となります。
但し、最低料金は5万円となります。
- 上映主催者は残った40%で、フィルム代以外の上映経費をご負担いただきます。
この経費としては、会場費、宣伝物印刷代、映写機材費、等が主なものになります。
- 上映総収入の40%で、フィルム代以外の経費をご負担いただき、余った金額は主催者の収益となります。

2 団体等の予算を使って行う上映会

団体等の予算を使って、その構成員にお観せしたい時もお問い合わせ下さい
基本は以下のしくみで進めて参ります。

- 入場料の設定はお任せします。無料も可です。
- 上映素材ご提供料は、最低5万円(税別途)となります。
この料金は、観客数で100名までの金額です。
- 観客数が100名を超える際には、超えた人数×500円(税別)が加算されます。